

B-89 袖山のいせこみに関する一考察

名古屋市立女短大 ○大川由子 佐野恂子

目的 袖はデザイン、布の物性などに関連して、ギャザー、タック、ダーツ、いせこみなど種々の縫製技術が適用されているが、袖原型はいせこみを前提としてゆるみ分を加えた形の設計がなされている。ここでは、袖山構成のためのゆるみ分(いせこみ)を解析するため、このゆるみ分をダーツで置きかえる一試みを行なった。

方法 文化式原型を使用し、ブラウス袖の縫製法に準じ、いせこみを入れたものと、袖原型の袖付け線の法線方向に曲率半径の比でダーツをとり、紙を用いて立体化したものの両者を写真撮影により比較、検討する。

結果 いせこみを用いて構成した袖山と、いせこみ量を上記方法でダーツにおきかえて製作したものは、形状的にはかなり類似したものを得ることができ、いせこみを前提としたゆるみ分の解析のための一定の知見が得られた。